

職員団体との意見交換会の議事要旨

(開催日時)

令和3年8月25日(水) 10:00~10:58(58分間)

(開催場所)

札幌第1合同庁舎10階共用1・2号会議室

(出席者)

当局側(北海道開発局)

柘植 紳二郎(開発監理部長)、池下 一文(開発監理部次長)、

藤田 望(人事課長)、赤間 英樹(会計課長)、

村津 敏紀(職員課長)、鈴木 博宣(職員課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合)

上山 新吾(書記長)、齋藤 航太郎(書記次長)

(議 題)

2022年度勤務条件改善に関する要求について

(要 旨)

<昇任>

(職員団体) 転勤が困難な事情を抱える職員についても一定の経験年数、勤務成績で昇任させるべきである。

(当 局) 育児や介護等により転勤できない職員については、今後も転勤を昇任の絶対条件とはせず、能力と意欲のある職員の登用に積極的に取り組んでいきたい。

<赴任旅費>

(職員団体) 真の実費支給とはなっていないため改善を求める。

(当 局) 当局として措置し得るものではないが、関心を持って、引き続き情報収集に努めていきたい。

<非常勤職員>

(職員団体) 組合のアンケートでは「もっと長く働きたい」との声が特に多いがどう受け止めるか。

(当 局) 非常勤職員の採用については、人事院規則等を踏まえ適切に運用していきたい。

<障害者雇用>

(職員団体) 障害者が働きやすい職場とするには、障害の内容や特性を周りの職員が理解する必要があると考えるが職場の周知方法如何。

(当 局) 各職場において管理者が障害の特性等を把握し、障害者である職員の意向にも配慮しながら、所属職員には必要な情報提供を行っている。

<健康安全管理>

(職員団体) 健康診断の再検査の受診の徹底を求める。

(当局) 今年度は「健康増進キャンペーン」と称して、職員への啓発、健康診断の受診徹底、再検査の促進、管理者への指導・教育等の取組を重点的に行うこととしている。

<庁舎・宿舎の改善>

(職員団体) 長きにわたり要求していても改善されないものが多いが、どう考えているのか。

(当局) 庁舎・宿舎の整備については、事業の動向、緊急性、予算事情等を考慮しながら整備を行っているところである。

<女性の採用等>

(職員団体) 女性職員が安心して働き続けられる職場づくりを求める。

(当局) 今後も女性職員が生涯働き続けられる職場づくりに向けて、適切に取り組んでいきたい。

※文責は北海道開発局当局(相手方未確認。今後修正があり得る)